

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 04 14	中期総合計画主要施策番号	2-03	担当課	部・課	農政部 園芸畜産課	
事業名	信州こだわり食肉生産推進事業				内 線	3174	
					E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H19 ~	根拠法令等	優良繁殖和牛導入事業実施要領,信州黄金シャモ生産振興要領ほか				
実施方法	直接実施、一部民間委託					国庫・ 県単	国庫補助事業・ 県単独事業

事業の概要等	目的(必要性)	消費者の国産嗜好、加工流通業者等からの特徴ある畜産物の要求に応えるため、高い飼養技術の普及と継承を図りながら、こだわりのある信州ならではの牛肉・豚肉・鶏肉の生産と供給体制を構築し、信州産の食肉のブランド化を推進する。
	対象	県内の肉用牛農家、銘柄豚飼育農家、信州黄金シャモ飼育農家、民間種鶏場、食肉加工流通業者
	目指すべき姿	<ul style="list-style-type: none"> ・こだわりのある食肉づくりの名匠「信州食肉マイスター」の認定を進め研修会などで高い技術の普及を図る ・県指定の高能力優良繁殖牛の導入を進め、その子牛生産を拡大して、「高品質な信州産和牛」の銘柄確立を進める ・優良純粋豚の系統維持を進めるとともに、精液供給体制を確立し「こだわりのある豚肉生産」を確立する ・長野県が開発した「信州黄金シャモ」の生産体制が構築され、こだわりのある鶏肉が生産販売される ・畜種ごとに県が主導的な立場で各系統を造成維持して、県産食肉ブランドを確立する
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・信州食肉マイスターの認定を進め、研修会を通じて高い使用技術の普及と継承を図る。 ・県内外から枝肉重量と肉質（脂肪交雑）の双方に改良効果（育種価）の優れた繁殖和牛の導入を進める。 ・デュロック・中ヨークシャ等、優良な純粋豚の系統維持を進めて、優良純粋豚の供給体制を確立する。 ・信州黄金シャモのヒナの供給体制を確立するため、一部民間委託を進めて、生産出荷体制の確立を図る。

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)		千円	19,212	17,978	11,228	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費の内、優秀な家畜の飼料費 8,048千円 ・需用費の内、医薬材料等 2,309千円 ・補助金 優良繁殖牛導入45頭 5,400千円 (H23で廃止)
	決 算 額 (B)		千円	19,212	17,603		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	9,173	7,932	2,180	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	2.00	2.00	2.00	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	35,846	34,119	27,744	
事業実績	成果指標・活動指標内容		単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	信州食肉マイスターのべ認定(活)		人数	27	33	42	<ul style="list-style-type: none"> ・高能力繁殖牛17頭から優秀受精卵が採卵できた ・優良純粋種豚の系統を維持し3頭の配布ができた
	高能力繁殖牛導入のべ頭数(活)		頭数	180	225	225	
	信州黄金シャモヒナ配布数(活)		羽数	36,275	38,265	50,000	(効率指標の算出基礎) 事業費 / (繁殖牛*1+ヒナ*0.001) 牛1頭当たりの補助ウエイトに合わせるため、シャモを1/1000に割落とした
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 供給数当たりコスト		千円/供給数	165.7	129.6	100.9	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	<ul style="list-style-type: none"> ・信州食肉マイスターへの登録を9名実施する ・育種価の優れた繁殖和牛を45頭導入する ・海外産純系種豚6品種の系統維持 ・信州黄金シャモのヒナを45,000羽配布する 	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉の生産に精通した6名のマイスターを誕生させ技術の伝承がさらに進められるようになった。 ・45頭の導入で高級和牛肉の生産に必要な母牛群の改良が進められた ・国内希少種の純系種豚を維持することでブランド豚生産に貢献できた ・社会情勢が厳しい中目標の8割をクリアする38265羽のヒナ供給ができた 	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の国産食肉需要は高く、県内産食肉の生産が確保されることで、流通サイドも県産の流通に取り組む検討がされている ・こだわりある食肉の生産技術の普及やヒナの供給は、銘柄確立がされるまでは県が関係機関と連携し進める必要がある ・社会情勢が変化する中でも一定の成果を上げており、状況に応じて効果的な事業の推進が図られている
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析(今後の課題、取組方針等)	<ul style="list-style-type: none"> ・生産技術の向上からは、マイスター6名を認定して、高レベルな匠の技の伝承が進められた ・プレミアム牛生産の元になる高品質な遺伝資源レベルの向上が図られた ・海外産の純系種豚の維持を図ることで、中ヨークシャなどの国内希少種の種豚供給ができた ・信州黄金シャモなどのプライベートブランドが徐々に浸透し長野県の特徴を活かした生産が進められている ・県が主導的立場で種畜の供給をすることで、消費者にアピールできる独自ブランドの振興が図られている
	特記事項	